

「ゴスペル賛美夕礼拝」に向けて(2019. 7. 21)

後の世代のためにこのことは書き記されねばならない。

「主を賛美するために民は創造された。」(詩編 102:19)

私たちは礼拝の最後に祝福を受けながらそれぞれの場に派遣される。その時、「いつも喜びなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」との御言葉が添えられる。だから、一週の日々、喜び、祈り、感謝を心掛けるが、賛美はこれらを表現する素晴らしい手段である。賛美によって喜びを、賛美によって祈りを、賛美によって感謝を表すことができるからである。だから、上掲の御言葉にあるように、主に向かって賛美する、そのことが私たちの創造目的であると言っていい。

この賛美の輪の中に一人でも多く、特に若い方々を招きたいと願い、来月の18日、「ゴスペル賛美夕礼拝」を捧げる。昨年は2回、賛美礼拝を捧げたが、今年度はここに集中したい。



この日、横手市内では「横手を元気に！」と「横手音フェス」が開かれる。Y<sup>2</sup>プラザ広場をメイン会場に、駅東側の各会場で一日中音楽が奏でられる。そこでゲストとしてThe Power Praise(TPP)にオファーを出したら、快諾を戴いたのである。このグループは土崎グロリアチャペル(松山裕牧師)を拠点に県内外で活躍されている素晴らしいゴスペルクワイア(聖歌隊)である。

主が備えて下さったこの賜物を多くの方とシェアすべく、以下のような広報を予定している。7月17日と18日、城南高校と横手高校の校門前でチラシを配布し、22日は青陵学院前で行う。8月3日(土)には、読売と朝日に4500部が新聞折込される。また、8月4日から毎日1回当日18日まで40秒CMが「かまくらFM」から放送される。さらに8月15日発行横手市報「みでたんしえ」にも掲載予定である。

しかし、何といても祝福のキーマンは私たち教会員一人ひとりである。まずこのために祈ってほしい。可能な範囲でチラシを用いて誘ってほしい。そして、出席してほしい。主がこの賛美夕礼拝を祝福し、お一人おひとりが「賛美を住まいとされる主」(詩22:3新改訳3版)に触れる恵みにあずかりますように。